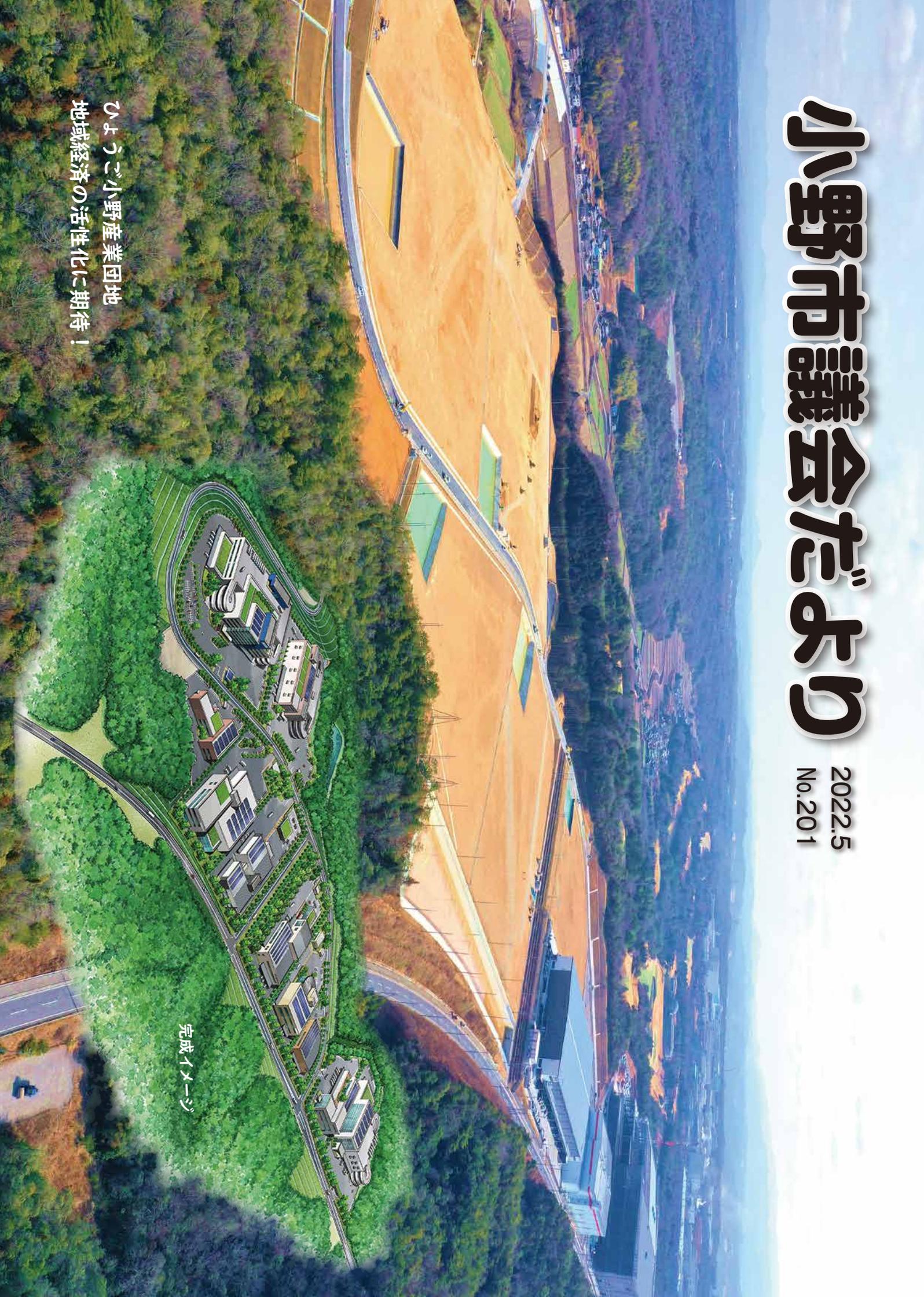


# 小野市議会だより

2022.5  
No.201



完成イメージ

ひょうご小野産業団地  
地域経済の活性化に期待！







# ここが聞きたい 一般質問!!

市民のみなさまの生活に  
関わることについて、  
9人の議員が  
一般質問を行いました。

(一般質問は発言した議員が編集しました)



## ●一般質問とは……

市政全般にわたり、執行機関（市長）に対し事務の執行状況や将来における政策方針等について議員が質問し、市長や部長等が答弁します。  
また、小野市では、市長から提出された議案についても一般質問することができます。

## ●質問テーマは？

1. 質問する内容は、議案とは関係なく議員個人が自由に決めています。
2. 議員個人が自分なりの問題意識を市政に問い、市の見解を求めます。

## ●質問の制限時間は？

1人あたりの制限時間は40分です。(答弁は含みません)



## 《一般質問をスマホ・タブレットで視聴できます!》

各議員の顔写真の下のQRコードをスマートフォンなどで読み取ると、その議員の一般質問などの動画をご覧いただけます。



村本洋子議員（公明党）



## 4月から「18歳成人」賢明な消費者に 発達段階に応じて消費者教育、金融教育を実施

質問 小中学校での消費者教育について

答弁 夢を持ち、未来を拓く視点での消費者教育、金融教育が求められている。すでに市民安全部と連携し授業を行っているが、民間団体や企業等と連携した実践についても研究を進める。(市当局)

質問 消費者トラブル防止への啓発について

答弁 広報誌などを活用した市民への周知、教育委員会や学校関係と連携した学生への講習会の継続。被害相談などに親身かつ迅速的確に対応。悪質な事案には警察との連携も図る。(市当局)

## デジタル分野における女性の 就労支援について

質問 デジタル分野は、感染症の影響を受けにくく、好きな場所、好きな時間で働くことができ、コロナ禍で苦しい状況の打開につながる。国

## 自治会業務のデジタル化支援 について

答弁 自治会内でのコンセンサスを得ていくことが必要。その上で、自治会からのお声があれば、できる限りの協力をする。(市当局)

※コンセンサス＝意見の一致

各議員の顔写真の下のQRコードをスマートフォンなどで読み取ると、その議員の一般質問などの動画をご覧いただけます。

平田真実議員（紡ぐ未来）



## 新幼稚園整備の内容は

答弁 令和8年開園目指し今後具体的に協議する

質問 新年度予算、新幼稚園整備費用1,700万円の具体的な内容は。

答弁 統合再編方針の中で、まず補助金採択に必要な耐震診断と、基本設計に着手する。駐車場確保の課題はあるが、現時点の統合場所として「わか松幼稚園跡地」を想定している。(市当局)

質問 公立で幼稚園を残す必要性や公立幼稚園にしかできないことは何か改めて問う。

答弁 脳科学理論を基盤とする16か年教育を実践する上で、市がセンターコントロールできるモデル校として公立幼稚園は必要である。元学校長など、脳科学に基づく教育を熟知した管理職を園に配置しており、切れ目のない小学校との連携や合理的配慮の提供等、公立としての役割を果たしていく必要があると考えている。(教育長)

## GIGAスクールプロジェクト について

質問 教職員の端末の持ち帰りや、濃厚接触者等、元気が登校できない児童生徒に対し、オンライン授業を行うことについての市の考えは。

答弁 教材作成等に使用するGIGA端末を教職員が持ち帰ることは今後検討すべき課題である。クラス全体でのオンライン授業は有効だが、ハイブリッド方式の対応には様々な課題が残っており、慎重に判断すべきである。プリント等をお届けするというこれまでの方法も進めながら、個別の状況を十分に踏まえ検討していく。(市当局)

※ハイブリッド方式とは、二つの異なる仕組みを組み合わせた方式。  
ここでは教室での授業とオンライン授業の二つを指す。

高坂純子議員（市民クラブ）



## 小野市内の独居高齢者約1,900人! 独自のチェック機能を持つ組織について議論中!

質問 小野市緊急通報事業の課題と今後の方向性について

答弁 緊急通報装置は必要とする方に確実に利用していただくため、行政からのPR・民生児童委員や在宅介護支援センター等の機能強化が必要と考える。(市当局)

質問 3名の緊急通報協力員を必要とすることが申請を躊躇させている。

答弁 今後、協力員の確保が困難な方でも事業を利用できるよう、県内では先進的な取り組みとなる「業者」駆け付けサービス」の導入を検討する他、申請要件の緩和について、実情とニーズに合わせた見直しにより、制度の更なる充実を図る。(市当局)

答弁 次に手を打つのは高齢者対策だ。新たな組織で対応するような機能を有するものを考え実行し、いかに成果を出しうるかができるか、という視点で研究を進めていく。(市長)



ご存知ですか？緊急通報装置

## 神戸電鉄粟生線の存続支援に ついて

質問 兵庫県が事務局となる「神戸電鉄粟生線存続検討会議」が設立された。市民も「自分ごと」として捉えることが大事と考えるが。

答弁 いかにして存続させるかだが、乗客を増やすのは一つの手段であり、乗客が減っても収益が上がるような経営が成り立てば存続できる。そういう議論を詰めていかなければいけない。(市長)

各議員の顔写真の下のQRコードをスマートフォンなどで読み取ると、その議員の一般質問などの動画をご覧いただけます。





# 民生地域常任委員会行政視察報告

令和4年2月9日(水)

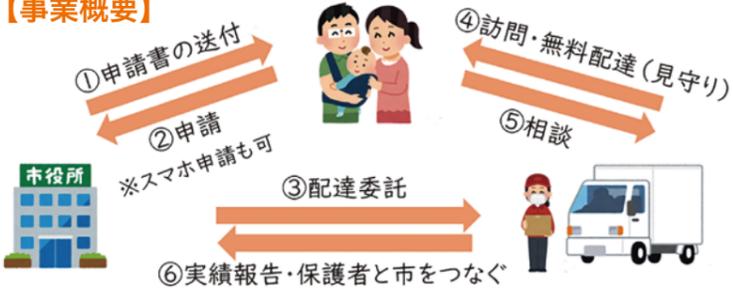
## ①0歳児見守り訪問「おむつ定期便」について

明石市をオンライン視察!!

### 【事業目的】

0歳児家庭に定期的に出向き(アウトリーチ)、見守りを続けることで孤立させず早期の支援に繋げていく

### 【事業概要】



- ・保護者や赤ちゃんと出会うきっかけとして赤ちゃん用品と子育て情報誌を毎月無料で届ける
- ・市内に住所を有する0歳児及びその保護者
- ・生後3か月から満1歳の誕生日まで10回配達

### 【現在の状況】

- 申請率は99.5%
  - 保護者との対面は84.2%  
(対面できなかった場合は電話・メールで状況確認)
  - 赤ちゃんとの対面は59.1%  
(具合が悪い、昼寝中などは対面していない)
  - 相談は52.2%
- ＜内容＞
- ・発育、発達
  - ・健康、身体のこと
  - ・家庭、生活環境
  - ・その他
  - ・基本的生活習慣(食事・睡眠等)

## ②障がい者施策 差別を解消する条例の取り組みについて

### 【手話言語・障害者コミュニケーション条例】

#### ＜関連施策の実施＞

- ・市内市立小学校での手話体験教室
- ・職員に手話検定受験料やテキスト代助成
- ・手話通訳士等の資格を有する正規職員を採用
- ・手話フォンの設置、遠隔手話通訳

#### ＜条例制定後の変化＞

- ・様々な障がい者団体との関わり、連携が増えた
- ・市の情報提供方法や窓口対応について改善を検討
- ・手話通訳者派遣人数の増大  
(平成27年から令和元年にかけ約1.7倍)



### 【明石障害者配慮条例】

#### ＜関連施策の実施＞

- ・合理的配慮の提供を支援 ⇒ 事業者や団体に必要な経費の助成
  - ・障がい理解の取り組み ⇒ ユニバーサルマナー検定受講  
「こどもユニバーサル交流会」  
パンフレット・広報を活用した啓発 など
- 相談対応 障がい者施策担当、発達支援センター等4つの窓口が連携相談受付⇒聞き取り⇒調整案の検討⇒両者の調整、合意

おむつ定期便は、孤立や虐待死など0歳児を養育する家庭の問題を早期に見つけ出し、支援していく事業として取り組まれており、事業開始から児童相談所に繋がったケースもあるとのこと、成果が表れている。このようなアウトリーチ型の支援は必要な方には心強い制度であるため、引き続き注視していきたい。

次に、障がい者施策について、情報アクセスの機会均等を全ての人に保障することは情報を提供する側の責務であり、例えば議会中継においても音声認識技術による字幕放送など、より多くの人に情報を届ける方法について検討する必要性を感じた。また、物理的な障がいだけでなく、慣行や制度など社会的障壁は気づきにくいいため、当事者や関係団体の声を直接聞くことにより、合理的配慮への理解を深めることが非常に重要であると改めて認識した。

全体を通して、「声がない」=「要望がない」ということではないとの認識をもち、行政側から声を聞きに行く明石市の姿勢には問題解決への意気込みを強く感じた。

# 総務文教常任委員会調査報告

令和4年2月7日(月)

## 小野市の広聴システムについて(市民サービス課)

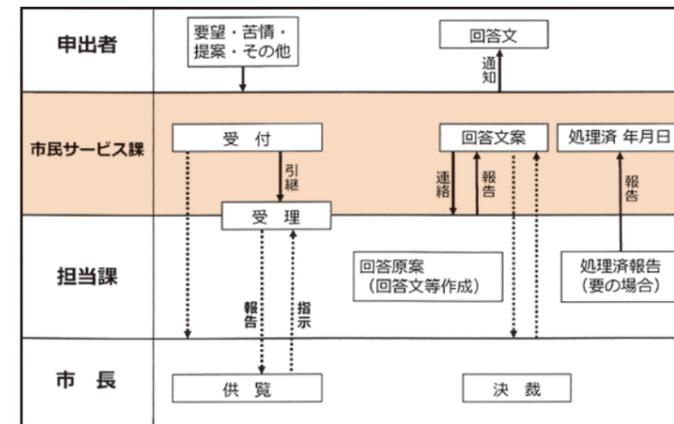
情報は市民の財産!

### 【ねらい】

- 市民の意見を市政へ反映させる  
よりよい市としていくため、また、市民の行政参画を促すために重要
- 迅速な組織的対応  
問題を放置しない、担当レベルで判断するのではなく市組織として対応  
⇒職員の問題解決能力の醸成と意識改革



### 【仕組み】

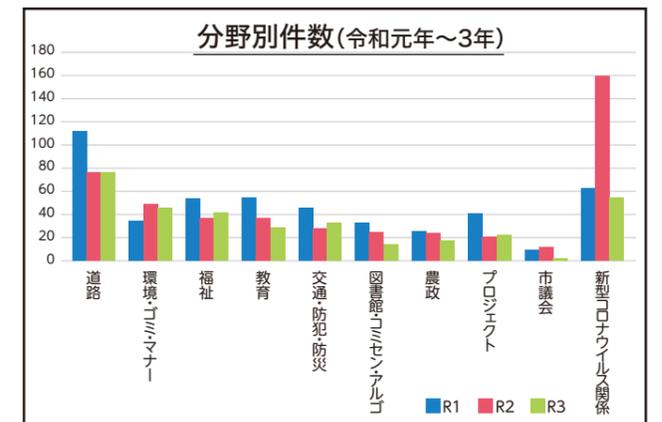


### ＜3つのポイント＞

- ①市長まで意見が届く
- ②多様な広聴手段  
市長への手紙(毎年7~8月)  
・市民が気軽に提言できる機会を設ける  
・年間平均200件程度  
・小野市流“オンリーワン”施策
- ③広聴システム  
・市民サービス課でデータを一括管理

### 【近年の傾向】

	申出件数(R2年度)	100人当たりの件数
小野市	700	1.46件
三木市	170	0.22件
多可町	150	0.76件
西脇市	150	0.38件
加東市	70	0.18件
加西市	40	0.09件



- ★申し出件数は  
市政に対する関心のバロメーター
- ★市への提言は市民参画の第一歩

令和2年度は特に新型コロナウイルス関係の申し出が群を抜いて多く、内容としては学校に関するものが一番多かった。

市民からの申し出について全て市長が目を通してはいるところは少なく、情報は市民の財産と捉え、担当レベルではなく市組織として迅速に対応していることや、市民からの申し出件数は市政に対する関心のバロメーターであり、近隣市の中でも申し出件数の多い小野市においては、市民の市政への期待が高いといえることなどを確認した。さらにより良い小野市とするためには、市民の声を待つだけでなく、積極的に聴く機会をより多く設け、様々な声を市政に反映させることが重要であると考えている。市民の代表である私たち議員も、市民のための小野市であるということを改めて念頭に置き、多くの市民が市政に関心を持ち、参画しやすいまちとなるよう力を尽くしたい。

# 議会を傍聴しませんか

※新型コロナウイルス感染症の拡大防止のため、傍聴をご遠慮いただく場合がありますのでご了承ください。

## ☆5月臨時会日程☆

5月11日(水) 午前10時～

## ☆6月定例会日程☆

5月27日(金) 午前10時～  
本会議(第1日) 議案説明

6月16日(木) 午前10時～  
本会議(第2日) 一般質問実施

6月17日(金) 午前10時～  
本会議(第3日) 一般質問実施

6月27日(月) 午後1時30分～  
本会議(第4日) 議案の採決など

- ★一般質問では、市長から提出された議案や、市政全般について議員が質問し、市長や部長等が答弁します。
- ★6月定例会で一般質問する項目・内容については、6月中旬に市議会ホームページに掲載します。



傍聴席から見た議場

小野市議会では、本会議を一般公開しています。当日受付で、住所・氏名を記入するだけで、どなたでも議会の傍聴ができます。

市役所6階 議会事務局までお越しください。

## 議会と市民との懇話会

議員の質問が終わるごとに、質問や答弁内容について傍聴席からご意見をいただく機会を設けます。展開される議論にご注目ください。一般質問は6月16日(木)、17日(金)に行われます。

## 「手話通訳」・「要約筆記」を利用できます

本会議を傍聴される際に「手話通訳」・「要約筆記」を利用することができます。希望日の8日前までに議会事務局にお申し込みください。(費用負担はありません)



## 「託児コーナー」を開設

一般質問が行われる6月16日(木)、17日(金)は、「託児コーナー」を開設します。傍聴の際には、1歳から就学前のお子様をお預かりします。6月8日(水)までに議会事務局にお申し込みください。(費用負担はありません)



## 傍聴に行けなくても YouTubeで会議中継



## マチイロ

アプリをダウンロードするとスマホに広報誌が届きます!



## 議会傍聴者数

### 3月定例会1名

まん延防止等重点措置期間中は傍聴をご遠慮いただきました  
(令和3年度累計74名)

＜お申し込み先＞ 議会事務局 TEL.63-1006(直通) FAX.63-4108  
E-mail:gikai@city.ono.hyogo.jp (市議会だよりへのご意見もこちらまで)

## あとがき

コロナ禍でマスク生活も2年を強いられ、心のどこからか小さな悲鳴も聞こえてきそうです。しかし、このような時だからこそ、自然の美しさや人々の温かさなど、見えてくるものもあります。力を合わせて乗り越えてまいりましょう。

さて、令和4年度予算を可決いたしました。市民の皆さまの税金を大切に使用していただくために200項目以上の事前質問を行なうなど細かくチェックを行いました。

見やすく！わかりやすく！手に取って読んでいただける情報発信ツール「小野市議会だより」はいかがでしたか。これからも皆さまに寄り添う紙面作成を心がけてまいります。皆さまからのご意見も頂戴できれば幸いです。

なお、次号からは新編集委員が作成する「小野市議会だより」のスタートです。ご期待ください！

(市議会報編集委員  
高坂純子)

※QRコードは株式会社デンソーウェブの登録商標です。